

# カラーコンパス EP 取扱説明書



株式会社 AT システム

カラーコンパス EP (電子ペーパーモデル) をご利用いただき、ありがとうございます。

本書にて 取り扱い方法を説明いたします。

## 1. 各部名称





## 2. 操作方法

電源 ON/OFF : ●印のスイッチを押すと電源が入ります。また、長押しすると電源がオフします。

ページ切替 : ●印のスイッチを押すと、画面が切り替わります。  
計測画面、履歴画面、設定画面、データ削除画面、情報画面の順に切り替わり、さらに押すと計測画面に戻ります。

計測画面では ■印のボタンを押すと計測を開始します。  
+印のボタンを押すと露光時間を上昇させます。  
-印のボタンを押すと露光時間を下降させます。  
画面の左上に「計測」と計測画面を示しています。

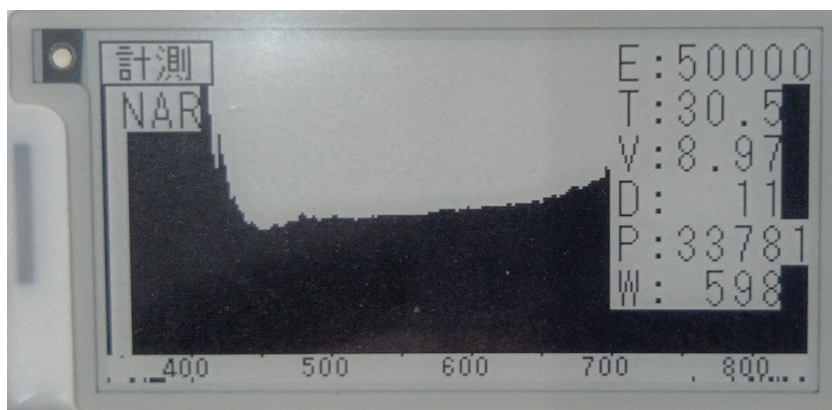
その下の NAR は 計測モード、露光時間設定モード、表示モードを表し、

計測モード : N(ワンショット)、C(リピート)

露光時間モード : F(固定)、S(スイッチで自動開始)、A(フル自動)

表示モード : N(生データ)、R(反射率)

を表しています。



右の項目は

E:露光時間 (us 単位)

T:ケース内温度 (度)

V:電池電圧 (V)

D:データ番号 (記録されている数)

P,W:ピークの値と波長値(nm)

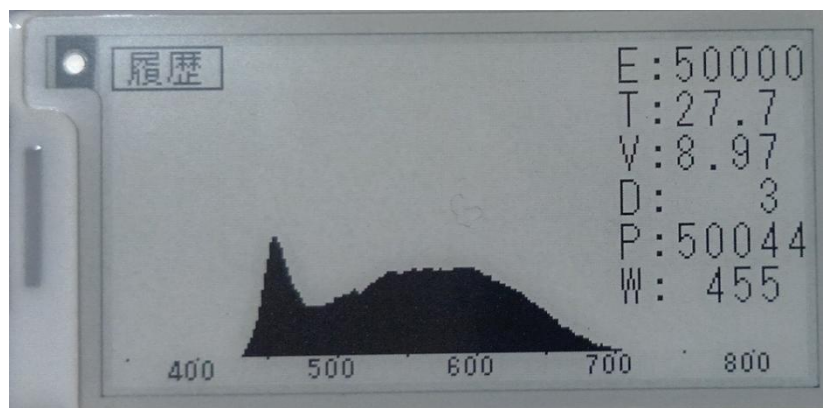
を表しています。この項目の表示の有無は設定画面で指定できます。

画面下の小さな数字は 波長値 (nm) を表示しています。

履歴画面では

計測したデータを表示します。

+、-スイッチでD:のデータ番号を上下させて表示させてください。



編集画面では

様々な設定ができます。■スイッチを押してカーソルを移動できます。

各数値の変更は '+', '-' スイッチで行います。

The screenshot shows the '編集' (Edit) screen with the following settings:

露光時間	1	測定方法	0
温度	1	測定間隔	39
電源電圧	1	表示形態	0
データNo	1	比較No	1
ピーク値	1	自動露光	2
		電源Off	300

右側の項目

測定方法：0 ワンショット計測、 1 リピート計測

測定間隔：リピート計測時の計測間隔を秒で指定します。

表示形態：0 データ表示 1 反射率表示

比較 No： 反射率表示の際の比較対象データの番号をいれます。

自動露光：0 固定（スイッチ操作のみ）

1 半自動（スイッチ操作で自動露光になる）

2 フル自動（常に自動的に露光時間を調整する）

なお、自動露光状態でも範囲内であればスイッチ操作が有効です。

電源 OFF 時間：操作せずに放置したときの電源をオフする時間を

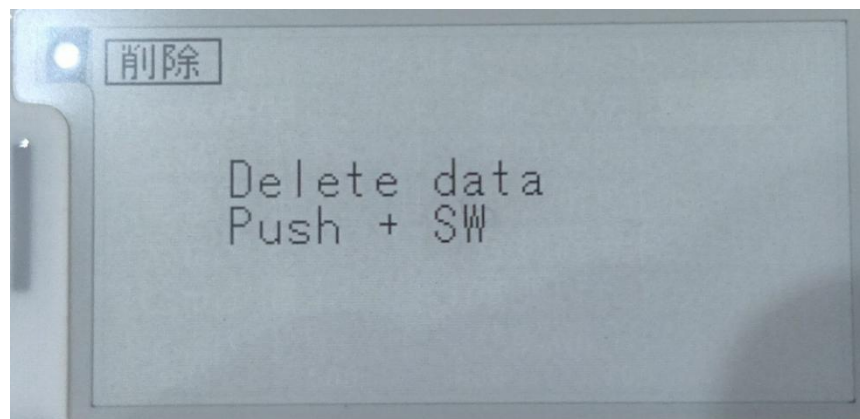
60秒単位で指定します。0のときは自動オフはしません。

左側の項目

各項目の表示の有無を指定します。0で非表示、1で表示をします。



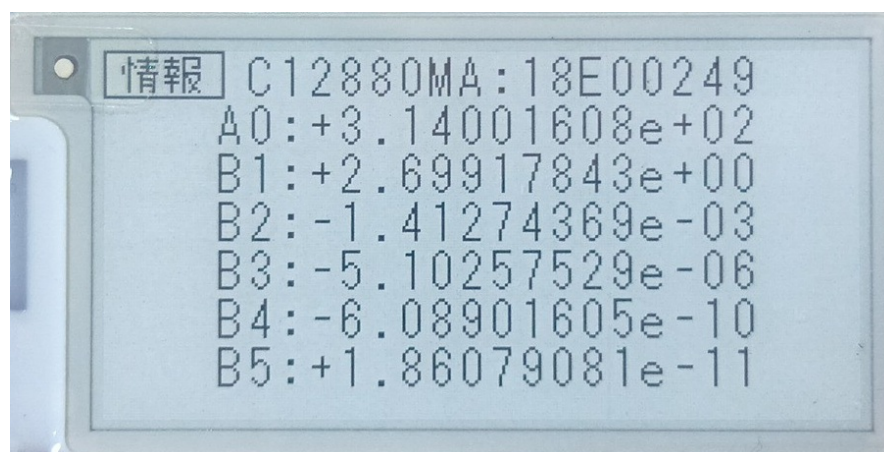
データ削除画面では



’ + ’ スイッチを押したのち ’ - ’ スイッチを押すとデータを削除できます。

情報画面では

下記のように、使用しているセンサー名およびそのシリアル番号が表示されます。



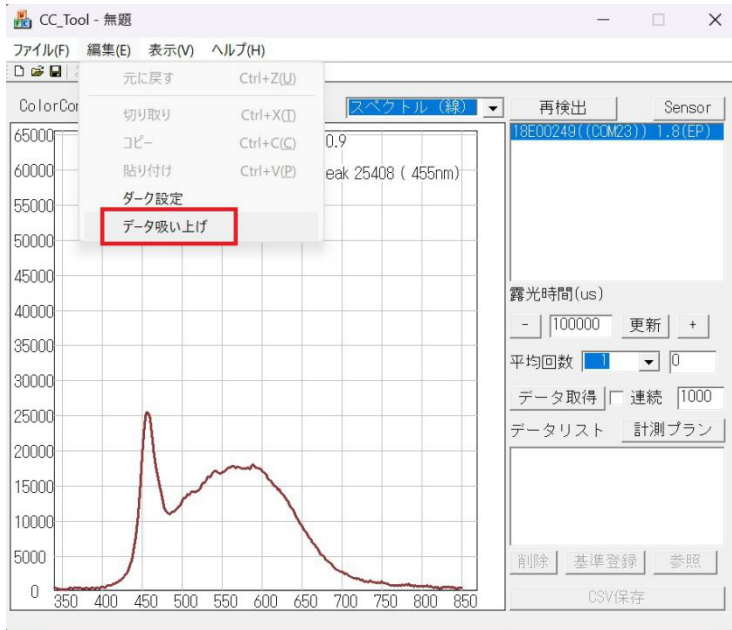
### 3. 充電方法

内部の電池を充電するには USB-C ケーブルをご用意し、充電してください。  
充電中は赤い LED が点灯し、充電が完了すると緑の LED が点灯します。

#### 4. パソコンとの接続

CC\_ToolEP.exe アプリを使用して、MFA 同等の操作ができます。  
(操作方法は MFA アプリを参照してください)

EP 用アプリを使用すると、計測で保存したデータを吸い上げることができます。  
データ吸い上げ画面は 編集メニューの「データ吸い上げ」を選択します。



下記の画面が立ち上がります。  
右のリストに、吸い上げる対象のデータが表示されます。

